

ふじなわ 喜和

2013.1 No.25

よしかず
発行：ふじなわ喜和
鳥取市湖山町北4丁目812
tel&fax 0857-28-2795

新年号

とっとり情熱がわら版

2012●平成24年のふじなわカレンダー

- 1月7日 新春書初め大会（鳥取市）
- 9日～12日 台湾・台中市訪問（平井知事、日華親善協会のみなさんとまんが博のPR・台中市との各分野での交流推進を図るため）
- 15日 国体スケート競技結団式（鳥取市）
- 23日・24日 エネルギー・雇用促進調査特別委員会調査（米子市・真庭市バイオスタウン等）
- 25日・26日 宮城県庁・塩釜市内水産会社・静岡県庁（東日本大震災後の復旧状況・東海地震に対する防災行政の取組み）
- 29日 湖山消防分団出初め式
- 2月5日 鳥取但馬会総会
- 28日 日華親善協会総会
- 3月5日 本会議一般質問（鳥取西高改築問題について）
- 17日 鳥取県バスケットボール協会理事総会
- 20日 （財）鳥取県水泳連盟理事総会
- 4月22日 湖山西自治会総会
- 24日 鳥取医療センター新病棟完成式（鳥取市）
- 28日 認定子ども園・ひかり幼稚園・ひかりのこ保育園竣工式
- 5月2日 郡家西・浦安小学校（体育専科教員の実態調査）
- 7日・8日 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会の県外調査（豊岡市外・山陰海岸ジオパーク推進三府県議会総会）
- 9日 会派県外調査「出雲神話博の取組み」（大社町）
- 13日 浦富海岸健康マラソン大会参加（3km・完走）
- 18日 企画県土警察常任委員会県内調査（山陰コンテンツビジネスパーク協議会）
- 21日 企画県土警察常任委員会県内調査（鳥取環境大学）
- 22日 島根県教育委員会（県立高校の今後について）
- 23日 隠岐郡海士町島前高校・島前町役場（地域が支える高校の実状）
- 31日・6月1日 愛媛県教育委員会・愛媛県庁・香川県教育委員会（小学校配置の体育専科教員の実状・スポーツ競技力向上について、伊方原発の状況について）
- 6月16日・17日 全国地方議員交流会（都内）
- 7月19日 山陰海岸ジオパーク三府県議会議員の会要望活動（都内）（観光庁・環境省・文科省・県選出国會議員）
- 23日・24日 企画県土警察常任委員会県外調査（京都市弟子屈町等、まんが博後の取組み、施設利用、エコツーリズムのツアー商品開発、ガイド育成等について）
- 27日 韓国清州市ガールスカウトとの交流会（鳥取市）
- 8月3日 ボーイスカウト県連盟夜営大会（青島）
- 4日 国際まんが博覧会開幕式・北四丁目町内納涼祭（焼きそば担当）
- 8日 会派県内調査（倉吉総合看護専門学校等）
- 11日 山陰海岸ジオパーク因幡・但馬中学生陸上大会（布勢競技場）
- 14日 じゃんしゃん祭り子ども達400人と踊る
- 19日 湖山西地区防災フェア
- 9月1日 町内千鳥会20周年記念の会
- 7日 国体水泳競技結団式
- 16日 湖山西地区敬老会
- 17日 ぎふ清流国体水泳競技激励（岐阜市）
- 21日 ぎふ清流国体選手結団式
- 10月2日 本会議一般質問（ぎふ清流国体の総括について）
- 8日 出雲大学駅伝で母校青山学院大学優勝！
- 21日 北四丁目町内運動会
- 26日 鳥取県戦没者遺族大会（倉吉市）
- 11月4日 中国五県県議会親善野球大会3位 投手で活躍（山口市）
- 22日 鳥取・岡山両県土木関係常任委員会合同会議（岡山市）
- 23日 山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村会議」参加
- 12月11日 本会議一般質問（山陰海岸ジオパークの再審査に向けて等）
- 21日 新温泉町山陰海岸ジオパーク館・谷本勇館長訪問（新温泉町）
- 31日 町内千鳥会年越し餅つき（北四会館）

旧年中は皆様方には大変お世話になりました。本年もよろしくお願いたします。

このたび、県議会の活動報告「かわら版25号新年号」を発行いたしました。はつらつと活動を展開している姿を見ていただければ幸いです。県民の皆様のため、県政発展のために一所懸命精進いたします。

引き続きご指導ご支援の程お願い申し上げます。

鳥取県議会議員 ふじなわ喜和

ごあいさつ



●石破代議士にジオパークに関して要望活動



●隠岐島海士町 山内町長を訪問「まち興しについて」



●隠岐島前高校 高校魅力化プロジェクト 岩本悠氏と



●山陰海岸ジオパーク推進三府県議会総会（豊岡市）



●台湾・野柳ジオパークを調査



●ジオパークに関して 井手観光庁長官に要望書を提出



●ジオパークに関して要望書を提出 ●赤澤代議士に ●文部科学副大臣に ●石巻市の被災状況を調査



●台湾苗栗県 県議員と意見交換会を終えて



●京都マンガミュージアム調査



●北四丁目町内納涼祭では焼きそば担当



●エネルギー・雇用促進特別委員会調査（王子製紙等）



●山陰コンテンツビジネスの調査を終えて 取材を受ける



●鳥取環境大学英語村調査



●じゃんしゃん祭り子ども達400人と踊る



ぎふ清流国体で ●左-山口親弘(あきひろ)選手 ぎふ国体 200m 平泳ぎ世界新記録 ●堀畑裕也選手 ●右-萩野公介選手 400m 個人メドレー ロンドン銅メダル 400m 個人ロンドン 6位



支援体制の構築を要望

山陰海岸ジオパーク推進3府県議、3府庁に山陰海岸ジオパークを形成する鳥取、兵庫、京都の3府県議でつくる「山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会」(会長・藤縄喜和鳥取県議)は19日、国に対し、現在複数の省庁にあるジオパーク担当窓口を一つの省庁に集約するなど、活動を推進する支援体制の構築を要望した。

要望書は観光庁、環境省、文部科学省の3省庁。藤縄会長や銀杏泰利県議、福岡裕隆県議が上京し、民主党の湯原俊二衆院議員が同席した。

要望書では、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークの加盟再審査を2014年に控えていることを前提に、官民一体となった推進体制の整備や財政的な支援が必要と指摘。各官庁に分かれていたジオパーク担当部署を一つにまとめるよう求めている。

観光庁では井出憲文長官と面談し、藤縄会長は「スポット」ごでは訪れる人は増えている。面としてとらえた滞在型の魅力創出が課題」と現状を説明。井出長官は、49地域の観光圏を対象にした観光圏整備事業に言及して山陰海岸を支援する意向を示した。

被災地支援の実績生かせ

【質問】東日本大震災で被害を受けた宮城県石巻市には県職員が多く派遣され、さまざまな業務で活動した。支援活動の実績を今後の防災計画に生かすべきではないか。

【答弁】県職員、市町村職員も参加する応援隊は被災地で大変に評価された。これは鳥取西部地震の経験を生かして、いち早く避難所対策などに県を挙げて市町村の協力も得ながら取り組んだ結果だと思ふ。応援隊をはじめとした職員の貴重な体験は、記憶の薄れないうちに参加者へのアンケートを実施して、県や各市町村が取りまとめを進めている防災計画にフィードバックさせたい。



震災ガレキの山(石巻市)



県政の課題に全力で、そしてタイムリーに取り組んでいます。

王国や漏水対策付帯意見を可決

鳥取県議会企画農土警察常任委員会(藤縄喜和委員長)は15日、2月定例会に提案された2012年度一般会計当初予算案の同委員会計託分を全会一致で可決した上で、まんが王国とつり建記念事業やみなとごきい交流館外壁改修工事など

細喜和会長が開いたもので、関係者約70人が出席。藤縄会長が「素晴らしい感動を県民に与えてくれた。二人の努力とコーチに拍手を送りたい」と祝福。二人に優勝時の写真パネルが贈られた。

宇田、武良選手 国体優勝祝う

9月から10月にかけて岐阜県で行われた「ぎふ清流国体」の少年女子高飛び込みで優勝した宇田恵理子選手(16)と米子西高1年(16)と少年男子B100以平泳ぎで優勝した武良竜也選手(16)と米子北高1年の優勝祝賀会が11日、JR米子駅前の米子ワシントンホテルプラザで開かれた。



記念の写真パネルを受け取る武良選手(左から2人目)と宇田選手(同4人目)

に関する3件の付帯意見を賛成多数で可決した。いずれも自民党の委員による提案。

まんが王国については、早急に事業内容を固めて広報や宣伝を行い観光客の確保に効果的を講ずるとともに、次年度以降に投資効果が及ぶように意見を付けられた。境港市大正町のみならず、交流館に関する内容は、二度と漏水がないよう内容設計と施工に注意を払い、水木しげるロードなど周辺環境に合う改修とするよう求める内容。

「110キロ駅伝」開催を

ジオパーク振興へ3府県議の会

山陰海岸ジオパークの振興を目的に鳥取、兵庫、京都の3府県議でつくる会の総会が8日、兵庫県豊岡市内であり、山陰海岸ジオパークの知名度向上に向け、3府県のジオパークエリアをたすぎでつなぐ「110キロ駅伝(仮称)」の開催を目指すことを確認した。

「山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会」(会長・藤縄喜和鳥取県議)の総会には3府県議16人のほか、各府県の担当者が出席。山陰海岸ジオパークの知名度を高め、観光客の呼び水となる駅伝大会の開催が提案された。

「大学生らに参加を呼び掛け、早ければ来年度の実現を目指してはどうか」との意見も出て、今後、具体的な運営体制などを話し合う検討会を同会内に設けることになった。



このほか、世界ジオパークネットワークによる加盟の再審査を2014年に控えていることから、山陰海岸の保全や活用の推進を求める要望書をまとめ、出席した各府県の代表者に提出した。

藤縄会長は「ジオパークの認知度はまだ低い、大都市圏へさらに周知し、ジオパークを発展させていきたい」と話していた。

話題を追

小学校配置の体育専科教員

平成二十三年六月議会で提案した、小学校体育専科教員制度が成果を上げ始める。平成二十四年十一月議会で、正教員対応と拡充を教育長に求めた。

【運動量が増加】小学校体育専科教員入り、担任と一緒の時間に児童が鉄棒で遊ぶ。このため体力の強化に非常勤講師で東中、1ム・ティンクでようになった。根雨小つながる運動機会の増(日野野野田)は、担当や生活習慣の改善が

細かな指導で意欲向上 勤務時間制限など課題も

主体的に運動に取り組む子どもたちを育てよう。鳥取県教委は4月からモデル的に県内6小学校に体育専科教員3人を配置している。県内児童の体力の二極化の解消と小学校教員の指導力向上が狙い。導入したクラスでは全員が水泳自由形25メートルを泳げるようになった。休憩時間に鉄棒を練習する子どもが増えたりするなど成果が出始めている。県教委では「体育の授業の質を高め、体力向上を図りたい」と話している。

水泳、鉄棒 効果じわり



任ではきめ細かな指導が難しい水泳の飛び込みなどを指導し、5年生全員が自由形25メートルを泳げるようになった。現場では「子どものレベルに合わせた指導ができるようになった」と話した。郡家西小(八頭町郡家)でも運動量が増えたという。

「2011年度新体制カテスト」を見ると、県内の子どもたちは長距離の発表会に「跳び箱の発表会に向けて担任や児童と話し合おう」と話した(右から2人目)浦安小

座体前屈や50メートル走などが全国平均を下回っている。浦安小、霧浦町下伊勢(3時間、5、6年生)では、昨年見られたような朝や休憩時の種目が減っている。県教委によると、子どもたちのつまづきや運動の技術的なポイントを指導する方法が分かるようになり、児童の主体的な活動に取り組む教員が増加。また指導内容を工夫する教員が約2倍に増えるなど教員の指導力向上にも好結果を生んでいる。

親世代(1978〜82年)の水準にまで体力アップを目指す。県教委では来年度も小学校に体育専科教員を配置する予定で、「跳び箱の踏み切り」は、幅跳びや高跳び、ハードルとすべての運動につながっており、を増やしたい」として